

平成19年度全国都市再生モデル調査の採択について

平成19年度全国都市再生モデル調査において、千秋公園活性化協議会（仮称）（事務局：秋田市公園課）が応募した『団塊パワーの結集による“思ひ出の久保田城下”再生プロジェクト』が、6月25日付けで採択されました。（応募総数489件、採択157件、競争率3.1倍）

1 全国都市再生モデル調査の概要

都市再生本部（本部長：内閣総理大臣）において決定された「全国都市再生のための緊急措置～稚内から石垣まで～」の一環として、全国各地で展開される「元気の出る」先導的な都市再生活動を、国が関係省庁の枠組みにとらわれず支援するものです。（国費100%、約5～600万円）

国費の対象となる取組みは、対応方策の実践的具体的検討、構想の具体化、計画の策定、実地検証・実験などです。

【参考】都市再生本部ホームページ

<http://www.toshisaisei.go.jp/>

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tosisaisei/index.html>

2 応募した調査の内容

(1) 調査名 団塊パワーの結集による“思ひ出の久保田城下”再生プロジェクト

(2) テーマ

久保田城址（千秋公園）の思ひ出の再生～団塊の世代を中心としたまちづくりの多様な担い手たちの協働による城下町再生プロジェクト

(3) 目的

まちづくりの多様な担い手の連携強化を図るとともに、見て・歩いて楽しい、安心・安全な市民の憩いの場として、千秋公園を含む周辺の総合的な環境整備を進め、旧城下町地域のにぎわいを再生する。

(4) 調査内容

JRや旅行会社等とのタイアップによる情報発信

千秋公園を語る夕べwith写真展の開催

久保田城下を舞台にした新たな所要時間別散策ルートの設定と散策マップの作成

久保田城址と一体となった周辺市街地のデザインコントロールの検討

イベント時を中心にした関係者による防犯パトロールなど各種防犯活動の実施

(5) 調査実施期間 平成19年7月～平成20年3月（予定）

3 採択のポイント

本調査は、中心市街地の約1割を占める千秋公園を、行政や商業者主導ではなく、伝統芸能団体、バリアフリー団体、観光関係者、市民有志等多様な主体の幅広い参画を得て再活性化を図ることにより、その波及効果を中心市街地全体に及ぼすというアプローチで中心市街地活性化に取り組むという特徴を有する点が評価されました。

4 今後の方針

本調査の実施主体として、千秋公園に所在する個人や団体、周辺の商店街団体、バリアフリー団体、ボランティア団体、観光関係者、市民有志等により構成される千秋公園活性化協議会（仮称）を、本年7月に設立し、すみやかに調査に着手いたします。

【参考】千秋公園HP

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/pc/senssyuukouenn/default.htm>

秋田駅周辺のまちづくりHP

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/rd/4kaku1jiku/4kaku1jiku2.htm>

問合せ先：

秋田市都市整備部公園課 児玉

〒010-8560 秋田市山王一丁目1-1

TEL 018-866-2154 FAX 018-866-2282